

# 脳神経外科 Neurosurgery

## 1. スタッフ構成(2025年3月時点)

### ○大上 史朗(副院長、経営改革推進本部副本部長)

1984年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脳腫瘍、脳血管障害、機能脳神経外科、神経内視鏡手術

資格:日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、厚生労働省臨床研修指導医

### ○岩田 真治(脳卒中センター長、脊椎脊髄センター長)

1990年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脊椎脊髄外科、神経内視鏡手術、小児神経外科、脳血管障害、頭部外傷

資格:日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本脳卒中の外科学会技術認定医、日本神経内視鏡学会技術認定医、日本脊椎外科学会脊椎脊髄外科専門医、日本小児神経外科学会認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本脳神経外傷学会認定指導医、厚生労働省臨床研修指導医

### ○藤原 聡(主任部長、救命救急センター副センター長、脳卒中センター副センター長)

1999年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脳血管障害、脳血管内治療、神経内視鏡手術、脳腫瘍、頭部外傷

資格:日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医、厚生労働省臨床研修指導医

### ○市川 晴久(部長)

1991年愛媛大学医学部卒  
専門分野:くも膜下出血、頭部外傷、小児神経外科、神経内視鏡手術

資格:日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医、日本小児神経外科学会認定医、日本脳神経外傷学会認定指導医、厚生労働省臨床研修指導医

### ○尾上 信二(部長)

1992年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脳腫瘍、脊椎脊髄外科、三叉神経痛、ガンマナイフによる定位放射線治療

資格:日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本脊椎外科学会脊椎脊髄外科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

### ○古川 浩次(部長)

1999年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脳血管障害、脳血管内治療、脳腫瘍、ガンマナイフによる定位放射線治療

資格:日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医、厚生労働省臨床研修指導医

### ○草川 あかり(医師)

2018年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷

### ○村山 健太郎(医師)

2019年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷

### ○金久 浩大(専攻医)

2020年愛媛大学医学部卒  
専門分野:脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷

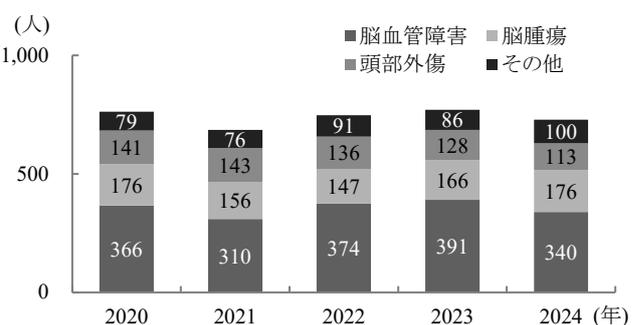
### ○松本 調(診療委託)

## 2. 実績

### ■ 疾患別入院患者数

疾患名	患者数
脳血管障害(CVD)	
脳出血	69
くも膜下出血	63
未破裂動脈瘤	66
虚血性脳血管障害	90
もやもや病	26
その他の血管障害	26
小計	340
頭部外傷	
急性硬膜外血種	7
急性硬膜下血種	29
慢性硬膜下血種	39
脳挫傷	31
その他の外傷	7
小計	113
脳腫瘍	
神経膠腫	20
髄膜腫	35
神経鞘腫	18
転移性腫瘍	88
その他の脳腫瘍	15
小計	176
機能的脳外科疾患(顔面痙攣、三叉神経痛、けいれん等)	38
脊椎・脊髄疾患	31
感染症	8
先天奇形	8
その他	15
合計	729

### ■ 入院患者数の推移



■ 全死亡例およびその死因

病名、死因	症例数
脳出血	17
くも膜下出血	11
虚血性脳血管障害	2
頭部外傷	8
脳腫瘍	1
感染症	3
合計	42

死亡症例は入院時すでに重症であった患者さんが多く、何らかの外科的処置を行った患者さんは 11 例(26%)でした。

■ 検査件数

検査名	症例数
脳血管造影検査	322
頭部 CT 検査	6,563
頭部 MRI 検査	6,620
脳血流 SPECT 検査	236
頭部 PET(FDG)検査	18

■ 手術・処置件数

手術・処置名	症例数
脳動脈瘤クリッピング術	
破裂	23
未破裂	10
脳内血腫除去術	
開頭術	7
内視鏡・穿頭術	2
血行再建術	
血管吻合術	12
内膜剥離術	3
脳動静脈奇形	1
頭部外傷手術	59
脳腫瘍手術	62
先天奇形	5
脊椎脊髄手術	19
脳血管内手術	
動脈瘤塞栓術	29
ステント留置術	12
血栓回収術	31
その他	10
機能外科(頭蓋内微小血管減圧術含む)	3
感染症	12
水頭症手術	33
うち第三脳室底開窓術	0
その他	16
小計(ガンマナイフ以外)	349
ガンマナイフ手術	103
合計	452

※Modified Rankin Scale: mRS

0	全く症状なし
1	何らかの症状はあるが障害はない:通常の活動や仕事は可能
2	軽微な障害:これまでの活動のすべてはできないがADLは自立
3	中等度の障害:生活に何らかの援助を要するが自力歩行可能
4	中等度から重度の障害:援助なしでは歩行・身の回りのこと不能
5	重度の障害:寝たきり、失禁、全面的な介護
6	死亡

■ くも膜下出血(急性期:49 例)

(開頭手術:23 例(51%)、血管内手術:15 例(33%)を含む)

		退院時 mRS							計
		0	1	2	3	4	5	6	
入院時 H&K	I	0	0	2	0	0	0	0	2
	II	3	3	1	2	3	1	0	13
	III	0	1	2	1	2	1	1	8
	IV	1	0	0	0	4	6	7	18
	V	0	0	0	0	1	1	2	4
合計		4	4	5	3	10	9	10	45

■ 開頭脳動脈瘤クリッピング術:33 例

(破裂:23 例、未破裂:10 例)

		退院時 mRS							計
		0	1	2	3	4	5	6	
入院時 H&K	0	4	3	2	1	0	0	0	10
	I	2	1	1	1	0	0	0	5
	II	2	2	1	1	2	0	0	8
	III	0	0	1	0	1	1	0	3
	IV	0	0	0	0	4	3	0	7
	V	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		8	6	5	3	7	4	0	33

■ 脳動脈瘤コイル塞栓術:29 例(破裂:16 例、未破裂:13 例)

		退院時 mRS							計
		0	1	2	3	4	5	6	
入院時 H&K	0	9	1	0	1	1	1	0	13
	I	2	1	0	0	2	0	0	5
	II	1	0	0	1	1	0	0	3
	III	0	1	1	1	0	0	0	3
	IV	1	0	0	0	0	2	0	3
	V	0	0	0	0	1	1	0	2
合計		13	3	1	3	5	4	0	29

■ 脳内出血急性期(保存的治療群:56 例)

		退院時 mRS							計
		0	1	2	3	4	5	6	
入院時 JCS	0-3	2	4	5	5	15	3	2	36
	10	0	1	0	0	3	0	0	4
	20	0	0	0	0	0	1	1	2
	30	0	0	0	0	0	1	1	2
	100	0	0	0	0	0	1	1	2
	200	0	0	0	0	0	1	8	9
	300	0	0	0	0	0	0	1	1
合計		2	5	5	5	18	7	14	56

■ 脳内出血急性期(外科的治療群:11 例)

		退院時 mRS							計
		0	1	2	3	4	5	6	
入院時 JCS	0-3	0	0	0	1	0	0	0	1
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	30	0	0	0	0	0	0	0	0
	100	0	0	0	0	1	3	0	4
	200	0	0	0	0	0	3	2	5
	300	0	0	0	0	0	0	1	1
合計		0	0	0	1	1	6	3	11

■ 頭部外傷(全症例:113 例)

		退院時 mRS							計
		0	1	2	3	4	5	6	
入院時 JCS	0-3	15	20	9	14	13	8	0	79
	10	0	2	5	2	3	1	2	15
	20	0	1	0	0	0	0	0	1
	30	0	0	1	0	0	0	0	1
	100	0	1	0	2	2	2	0	7
	200	0	0	0	0	1	3	2	6
	300	0	0	0	0	0	0	4	4
合計		15	24	15	18	19	14	8	113

■ 脳腫瘍(手術例:62 例、内視鏡下生検も含む)

	退院時 mRS							計
	0	1	2	3	4	5	6	
神経膠腫	0	0	4	3	3	0	0	10
髄膜腫	5	5	6	1	1	0	0	18
神経鞘腫	0	3	7	0	0	0	0	10
転移性腫瘍	0	2	4	3	3	0	0	12
その他	3	3	2	2	0	1	1	12
合計	8	13	23	9	7	1	1	62

■ 疾患別平均在院日数

疾患名	平均在院日数
脳血管障害	13.9 日
頭部外傷	12.2 日
脳腫瘍	13.8 日
その他	13.1 日
全入院患者	13.4 日

■ クリニカルインディケーター

指標	成績
深部静脈血栓症発生率	1.1%(8/729)
48 時間以内の再手術率	1.4%(5/349)
合併症による再手術率	2.3%(8/349)
慢性硬膜下血腫再手術率	0%(0/40)
誘発電位使用数	61 例
術中ナビゲーションの使用数	91 例

3. 2025 年度目標

- 脳卒中や頭部外傷に代表される救急患者の診断および治療を、これまでどおり遅滞なく遂行維持していきます。
- 脳卒中学会認定一次脳卒中センター(PSC)コア施設として、脳卒中急性期患者を脳神経内科と連携して診療・管理するとともに、脳卒中に関する勉強会も行っていきます。
- 脳腫瘍患者では、良性、悪性を問わず、最新かつ最適な治療を行い、転帰の向上を目指します。
- 脊椎脊髄センターでは、整形外科と協力して脊椎・脊髄疾患患者を積極的に治療していきます。
- 脳神経外科研修プログラムの充実を図り、脳神経外科専攻医の獲得を図ります。
- 看護教育にも医師が積極的に関与し、入院患者に対する治療方針や問題点を看護師と共有するための症例カンファレンスや勉強会を行います。
- 学会への発表や論文発表等も積極的に行っていきます。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 岩田真治、山下大介、高野昌平、後頭蓋窩くも膜嚢胞に対し軟性鏡で開窓術を行った 2 例。シーボルト神経内視鏡ワークショップ 2024。佐賀 (2024.1.6)
- 藤原聡。当院のフローダイバーター治療。Pipeline User's Meeting in 愛媛。松山 (2024.2.26)
- 古川浩次、藤原聡、柴垣慶一、村山健太郎、草川あかり、大塚祥浩、尾上信二、市川晴久、岩田真治、大上史朗。コイルおよび NBCA にて止血し得た刺創による椎骨動脈損傷の 1 例。第 47 回日本脳神経外傷学会。東京 (2024.3.1-2)
- 柴垣慶一。てんかんと薬物治療～当院での治療経験を含めて～。てんかん診療 WEB セミナー in 愛媛。松山 (2024.3.12)
- 柴垣慶一、大上史朗、村山健太郎、大塚祥浩、藤原聡、古川浩次、尾上信二、市川晴久、岩田真治、杉田敦郎。視野障害を呈した中枢神経原発リンパ腫様肉芽腫症の 1 例。第 97 回日本脳神経外科学会中国四国支部会。鳥取 (2024.4.6-7)
- 柴垣慶一、大上史朗、村山健太郎、大塚祥浩、藤原聡、古川浩次、尾上信二、市川晴久、岩田真治。転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射後の再発と放射線壊死の画像的特徴。第 47 回日本脳神経 CI 学会。長崎 (2024.4.19-20)
- 藤原聡。当院の FRED 症例提示と FD 候補症例の検討。愛媛 BRAIDED SEMINAR。松山 (2024.5.23)

8. 岩田真治、村山健太郎、尾上信二、中須賀允紀、松本和寛、飯本誠治. 頑固な後頭部痛に対して環椎後弓切除が奏功した1例. 第39回日本脊髄外科学会. 大阪 (2024.6.13-14)
9. 村山健太郎、岩田真治、尾上信二、中須賀允紀、松本和寛、飯本誠治. 出血源不明の頸椎くも膜下出血に対して椎弓切除術を施行した1例. 第39回日本脊髄外科学会. 大阪 (2024.6.13-14)
10. 柴垣慶一. Lateral suboccipital retrosigmoid approach の基本. 脳神経外科 Specialist Meeting. 松山 (2024.6.15)
11. 大上史朗、柴垣慶一、岩田真治、藤原聡、古川浩次、市川晴久、尾上信二、大塚祥浩、草川あかり、村山健太郎. 導入後1年間の経験から得た外視鏡手術の有用性と今後の展望. 第33回脳神経外科手術と機器学会. 東京 (2024.7.3-4)
12. 柴垣慶一、大上史朗、村山健太郎、大塚祥浩、藤原聡、古川浩次、尾上信二、市川晴久、岩田真治. 当院での使用経験からみた DuraGen の有用性と問題点について. 第33回脳神経外科手術と機器学会. 東京 (2024.7.3-4)
13. 大上史朗、柴垣慶一、岩田真治、藤原聡、古川浩次、市川晴久、尾上信二、大塚祥浩、草川あかり、村山健太郎. 頭蓋底外科手術における外視鏡の有用性と展望. 第36回日本頭蓋底外科学会. 東京 (2024.7.5-6)
14. 柴垣慶一、大上史朗、村山健太郎、瀬野利太、市川晴久、高野昌平(姫路赤十字病院). 内視鏡を使用した経鼻手術の初期症例の検討. 第36回日本頭蓋底外科学会. 東京 (2024.7.5-6)
15. 古川浩次、尾上信二、金久浩大、村山健太郎、草川あかり、柴垣慶一、藤原聡、市川晴久、岩田真治、大上史朗. キイトルーダ投与によりガンマナイフ治療前に病変が縮小・消退していた多発転移性脳腫瘍の3例. 第17回明日のガンマナイフを担う会. 三重 (2024.7.12-13)
16. 岩田真治. 頭蓋頸椎移行部病変. 第12回中国四国脊椎脊髄セミナー. 岡山 (2024.7.13)
17. 金久浩大、市川晴久、村山健太郎、草川あかり、柴垣慶一、藤原聡、古川浩次、尾上信二、岩田真治、大上史朗. mTOR 阻害剤の術前投与が有効であった上衣下巨細胞性星細胞腫(SEGA)の一例. 第123回愛媛脳神経外科懇話会. 松山 (2024.7.13)
18. 藤原聡. 当院での TRN 症例. 第11回脳血管内治療四国遍路塾. 松山 (2024.7.27)
19. 岩田真治. 症例相談-高校生アスリートの第三脳室コロイドのう胞の1例- . 第13回愛媛神経内視鏡研究会. 松山 (2024.8.17)
20. 柴垣慶一、大上史朗、金久浩大、村山健太郎、草川あかり、藤原聡、古川浩次、尾上信二、市川晴久、岩田真治、木藤克己. 頭蓋内に発生した Histiocytic sarcoma の1例. 第38回中国四国脳腫瘍研究会. 松山 (2024.9.20)
21. 藤原聡、金久浩大、村山健太郎、草川あかり、柴垣慶一、古川浩次、尾上信二、市川晴久、岩田真治、大上史朗、吉田暉、大坪治喜. 破裂内頸動脈血豆状動脈瘤に対し LVIS stent 2 本留置のみで治療した1例. 第33回日本脳神経血管内治療学会中国四国地方会. 松山 (2024.9.21)
22. 大上史朗、柴垣慶一、岩田真治、藤原聡、古川浩次、市川晴久、尾上信二、草川あかり、村山健太郎、金久浩大. 小脳橋角部腫瘍に対する外視鏡手術-顕微鏡下手術と比較して. 第29回日本脳腫瘍の外科学会. 高知 (2024.10.4-5)
23. 藤原聡、柴垣慶一、金久浩大、村山健太郎、草川あかり、古川浩次、尾上信二、市川晴久、岩田真治、大上史朗. 後方循環動脈瘤に対する二刀流術者による開頭術および血管内手術併用治療の利点と今後の課題. 日本脳神経外科学会第83回学術総会. 横浜 (2024.10.16-18)
24. 大上史朗、柴垣慶一、岩田真治、市川晴久、尾上信二、藤原聡、古川浩次、草川あかり、村山健太郎、金久浩大. 導入後1年の経験から得た脳腫瘍に対する外視鏡手術の有用性と今後の展望. 日本脳神経外科学会第83回学術総会. 横浜 (2024.10.16-18)
25. 大上史朗. これからの頭蓋底外科手術-外視鏡手術のすすめ-. 第3回中国・四国 skull base セミナー. 岡山 (2024.11.2)
26. 岩田真治、藤原聡、古川浩次、柴垣慶一、村山健太郎、草川あかり、金久浩大、尾上信二、市川晴久、大上史朗. 脳内出血に対する神経内視鏡下血腫除去術の有用性-自験例33例の経験から-. 第31回日本神経内視鏡学会. 東京 (2024.11.7-8)
27. 村山健太郎. distal transsylvian approach で clipping を行った症例. 第24回 Autumn Brain Conference in Dogo. 松山 (2024.11.9)
28. 藤原聡、金久浩大、村山健太郎、草川あかり、柴垣慶一、古川浩次、尾上信二、市川晴久、岩田真治、大上史朗、吉田暉、大坪治喜. 当院における慢性硬膜下血腫に対する中硬膜動脈塞栓術の成績. 第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会. 熊本 (2024.11.21-23)
29. 古川浩次、尾上信二、草川あかり、金久浩大、村山健太郎、藤原聡、市川晴久、岩田真治、大上史朗. 当院におけるガンマナイフ治療の現状. 愛媛脳神経外科懇話会第124回学術集会. 松山 (2024.11.30)
30. 大上史朗、市川晴久、柴垣慶一、岩田真治、藤原聡、古川浩次、尾上信二、草川あかり、村山健太郎、金久浩大、永井功造、河邊美香. mTOR 阻害剤の術前投与が有用であった上衣下巨細胞性星細胞腫の一例. 第42回日本脳腫瘍学会学術集会. 三重 (2024.12.1-3)
31. 藤原聡. 当院での FRED 使用症例、治療検討中の症例. テルモ Hybrid セミナー FRED/FRED X の実力. 松山 (2024.12.3)
32. 金久浩大、岩田真治. 診断と治療に苦慮している arachnoid web の1例. 中国四国脊髄外科学会. 広島 (2024.12.14)

## (2) 論文・著書

1. Hayashi N, Fukai J, Nakatogawa H, Kawaji H, Yoshioka E, Kodama Y, Nakajo K, Uda T, Naito K, Kijima N, Okita Y, Kagawa N, Takahashi Y, Hashimoto N, Arita H, Takano K, Sakamoto D, Iida T, Arakawa Y, Kawachi T, Sonoda Y, Mitobe Y, Ishibashi K, Matsuda M, Achiha T, Tomita T, Nonaka M, Hara K, Takebe N, Tsuzuki T, Nakajima Y, Ohue S, Nakajima N, Watanabe A, Inoue A, Umegaki M, Kanematsu D, atsuma A, Sumida M, Shofuda T, Mano M, Kinoshita M, Mori K, Nakao N, Kanemura Y. Neuroradiological, genetic and clinical characteristics of histone H3 K27-mutant diffuse midline gliomas in the Kansai Molecular Diagnosis Network for CNS Tumors(Kansai Network): multicenter retrospective cohort. Acta Neuropathol Commun 27(12). 120 (2024)